日本知財学会第14回年次学術研究発表会　一般発表のご案内（発表者、発表者所属、テーマ、連名発表者）
2016年12月4日（日）

※会場地図は後項をご確認ください

場所	1031	1032	1041	1042	1051	1052	1061	1063	1073	1081
座長	佐野　哲	諏訪野　大	杉光　一成	世良　清	前川　武之	飯田　香緒里	奥田　慶文	岡田　吉美	山内　勇	
	知財制度論	著作権・ コンテンツマネジメント	ブランド、デザイン	知財人材育成・知財教育	知財に関する国際問題	知財経営	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	学生発表	
12:30	2A1 北田　透 国土交通省土地・建設産業局企画課 企業規模別における特許料の多寡が特許取得件数，生産量及び平均生産力に与える影響	2B1 金子　将大 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科 インターネット上におけるリンク行為の著作権法上の問題に関する考察～日欧の比較から～	2C1 小川　徹 MARK STYLER株式会社 ファッションプロダクトの多面的な保護	2D1 陳　愛華 重慶大学経済与工商管理学院 企業知財人材育成の道筋についてのケーススタディ 劉偉/廖氷/岡田廣司/松岡守/世良清	2E1 今村　哲也 明治大学 地理的表示保護に関する国際規範の形成の動向と我が国がとるべき国内的・国際的な対応	2F1 隅藏　康一 政策研究大学院大学 日本企業におけるイノベーションと知的財産の関係 枝村一磨/古澤陽子/小沼良直	2G1 神谷　昌男 日本弁理士会　企業弁理士知財委員会 IPRに対するPAEの行動に関する解析 永井隆/小池秀雄	2H1 犬塚　篤 名古屋大学経済学研究科 特許引用情報を用いた技術交換ネットワーク～国内自動車産業を事例に～	2I1 呂　俊霖 大阪工業大学知的財産研究科 電子製品企業のグローバル知的財産戦略について—台湾ホンハイ（鴻海精密）を中心に— 村川一雄	
12:50	2A2 廣瀬　隆行 東京大学大学院工学系研究科 異議申立制度の現状 元橋一之	2B2 鈴木　信也 （株）沖データ 米国における違法コンテンツ対策の動向とその考察－サイトブロッキングの適用に関する従来議論と今後の可能性－	2C2 齋藤　崇 日本大学大学院法学研究科博士後期課程 商標パロディに関する考察	2D2 出口　祥啓 徳島大学 徳島大学における地域企業ニーズを反映した実践的知財教育 森本恵美/織田聡/井内健介/藤井章夫		2F2 森田　裕 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会 ベンチャー企業における知財戦略および資金獲得の戦略 大澤健一/森田慶子/金丸清隆/吉田美和	2G2 須山　直紀 東京工業大学イノベーションマネジメント研究科 大学と企業の共同出願における論文の活用状況と、その活用状況が以降の出願へ与える影響についての調査	2H2 馬場　光明 株式会社プロパティ 特許ポートフォリオの評価と予測システムによる企業の戦略策定	2I2 渡邉　葉子 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 NPEに係わる知的財産問題とその対策に関する研究 村川一雄	
13:10	2A3 小野山　祐介 TANAKAホールディングス株式会社 特許法における開示要件（実施可能要件・サポート要件）の理論レベルと実態レベルの乖離についての考察	2B3 関　真也 TMI総合法律事務所 リンキングによる著作権侵害に関する米国法の議論	2C3 兼子　美幸 日本大学交友 判例からみるトレードドレス保護の可能性	2D3 富畑　賢司 大分大学産学官連携推進機構 医療現場ニーズから生まれる機器開発における知的財産保護と、関係者への知的財産教育プログラム作成の取り組み 野田佳邦/北村英隆/吉田悦子/富田直秀/辰巳明久	2E3 古谷　真帆 東京大学政策ビジョン研究センター 欧州連合司法裁判所からみる統一特許裁判所の位置づけ	2F3 西尾　好司 日本工業大学/富士通総研 オープンイノベーションの場としての産学共同研究に関する研究	2G3 乾　利之 IPNJ国際特許事務所 IoT関連発明の保護に関する一考察～IT関連発明の保護における課題を参考に～ 田中義敏	2H3 佐藤　健一郎 Darts-ip グローバル判例情報に基づいた、知財戦略立案のためのSWOT分析	2I3 小山内　達哉 長岡技術科学大学 空間統計学を用いた技術集積評価指標の開発 野中尋史	
13:30		2B4 安田　和史 株式会社スズキアンドアソシエイツ SNS上のなりすまし被害とアイデンティティ権		2D4 二又　俊文 東京大学政策ビジョン研究センター 知財教育の手法に関する実践的研究　-知財交渉におけるロールプレイの意義と効果の検証 木村晋朗		2F4 石埜　正穂 札幌医科大学医学部 大学における医療開発のインセンティブを担保するためのシステム- 臨床試験データの知財的扱いを含んだ考察	2G4 松浦　昌宏 知的財産管理技能士会研究会 イノベーションの要因と知的財産 我妻真二/川下英盛/仁平洋一/林瑞枝/宮澤亘	2H4 大塚　裕一 山口大学大学院技術経営研究科 ドシエ情報活用による効率的進歩性判断 -国際的比較検証- 岡本和也/高橋雅和	2I4 佐藤　公一郎 日本大学大学院知的財産研究科 独国と日本の営業秘密に関する秘密管理性の比較研究 加藤浩	
休憩										

場所	1031	1032	1041	1042	1051	1052	1061	1063	1073	1081
座長	隅蔵　康一	関　真也	小川　徹	世良　清	田中　義敏	石埜　正穂	西尾　好司	犬塚　篤	三村　淳	
	知財制度論	著作権・ コンテンツマネジメント	ブランド、デザイン	知財人材育成・知財教育	知財に関する国際問題	知財経営	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	学生発表	
14:00	2A5 加藤　浩 日本大学大学院知的財産研究科 特許権の存続期間の延長に関する一考察	2B5 今村　哲也 明治大学情報コミュニケーション学部 教育の過程における著作物利用に適用可能な権利制限規定に関する法解釈とその限界	2C5 石井　美緒 弁護士 インターネットショッピングモールの出店者の商標権侵害に対する運営者の責任	2D5 島野　哲郎 宇部興産（株）知的財産部 企業における知財教育のあり方と実践～若手社員向け知財教育を中心として～ 八角克夫/出口昌信	2E5 前川　武之 三菱電機株式会社　知的財産センター　特許企画部 アジア地域新興国における知財リスクの定量的評価の試み（2）　～国毎のプロパテント係数の導入と検証～ 高橋省吾	2F5 川澄　みゆり 東京医科歯科大学 医学研究における利益相反マネジメント 飯田香緒里	2G5 池田　恵一 東京大学大学院／永井特許事務所 事業ポートフォリオ転換をすすめる企業研究者の行動とパフォーマンス 渡部俊也/吉岡（小林）徹	2H5 岡田　吉美 一橋大学イノベーション研究センター 権利範囲の広さの代理変数としての請求項1の文字数の逆数の特許権の価値に対する予測力 長岡貞男/内藤祐介	2I5 瀬川　晶子 東京大学大学院工学系技術経営戦略学専攻 特許無償開放による間接効果を含む参照研究活動の促進効果の分析 渡部俊也/吉岡（小林）徹	
14:20	2A6 佐野　哲 公益財団法人静岡県産業振興財団 特許期間と薬価が新薬の研究開発に与える影響	2B6 諏訪野　大 近畿大学法学部 不動産を素材とする構築物の著作物該当性に関する日英比較	2C6 川上　成年 （株）知財デザイン ブランドQFDを活用した調査手法の開発 谷津維則		2E6 胡　勇 筑波大学大学院修了 不適切な保護手段による「被害者」から「加害者」への転換----中国におけるホンダ技研意匠権侵害敗訴事案から 星野豊	2F6 飯田　香緒里 東京医科歯科大学 産学連携にかかる契約マネジメントの重要性 川澄みゆり	2G6 奥田　慶文 株式会社日本電気特許技術情報センター 欧州企業の製造業IoT分野における戦略分析 五藤智久/法橋宏高/小田三紀雄	2H6 山田　将生 アビームコンサルティング株式会社 コンテンツからの特許要素の自動抽出および定量分析への活用 顔玉蘭	2I6 藤川　拓磨 東京理科大学大学院イノベーション研究科 プリンターメーカーの知財戦略—消耗品ビジネスにおける特許出願の考察 鈴木公明	
14:40	2A7 佃　誠玄 日本弁理士会 併用療法を保護する特許に関する研究 石埜正穂/佐伯とも子/志村将/溝口正信/吉田尚美	2B7 加藤　直規 （知的財産研究家） 表現の自由と著作権の制限についての一試論－美術の著作物の営利を目的としない展示－	2C7 八神　寿徳 国立大学法人三重大学 大学ブランド商品における大学名称・標章等使用料の設定金額に関する考察		2E7 井手　李咲 (一財)知的財産研究教育財団知的財産研究所 知的財産法における損害賠償制度の日中韓比較検討	2F7 宮脇　一 情報工房株式会社 マーケティング志向を取り入れた知財評価技法の考察 寺地洋之/北村光司/下出一/西脇美奈子/都築泉	2G7 有田　仁 大阪工業大学　大学院知的財産研究科 自動運転システムにおけるクラウドネットワークの通信遅延条件—特許情報検索によるアプローチ— 村川一雄	2H7 谷川　英和 有限会社アイ・アール・ディー／IRD国際特許事務所 関連出願の特許書類比較・検査ツール 太田貴久	2I7 川津　那都美 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻 企業側から見た大学の技術移転についての考察 鈴木公明	
15:00	2A8 吉田　哲 奈良先端科学技術大学院大学 機能的クレームに要求される実施例の日米比較検討、日本的実施例の記載が米国審査で記載不備とされるリスクについて 久保浩三	2B8 松本　翼 日本大学大学院　法学研究科 我が国における著作物の二次利用円滑化に関する一方策				2F8 村川　一雄 大阪工業大学大学院知的財産研究科 特許の知財リスクを考慮した価値評価手法の検討	2G8 五藤　智久 株式会社　日本電気特許技術情報センター 技術動向調査の上流工程における依頼者との合意形成 森長薫/中川裕二/横山貞彦/酒井美里	2H8 太田　貴久 有限会社アイ・アール・ディー／IRD国際特許事務所 自然言語処理／人工知能を用いた特許調査支援 谷川英和	2I8 廣谷　慶太 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻 応用美術の保護可能性に関する研究 鈴木公明	
休憩										

場所	1031	1032	1041	1042	1051	1052	1061	1063	1073	1081
座長	北田　透		鈴木　公明			村川　一雄			八木　孝雄	
	知財制度論		ブランド、デザイン			知財経営			学生発表	
15:30	2A9 二間瀬　覚 日本弁理士会不正競争防止法委員会 事例から見えてきた技術的な営業秘密の流出に関する課題の傾向と解決案に関する考察		2C9 鈴木　公明 東京理科大学 意匠審査基準の検討			2F9 飯塚　雄基 早稲田大学商学部 統合報告と財務報告―知的財産会計への示唆―			2I9 梶間　周一郎 金沢大学人間社会学域地域創造学類 林産品のブランド化における地域団体商標の現状と地理的表示への展開への展望 内山愉太/香坂玲	
15:50	2A10 狩野　幹人 三重大学 大学における営業秘密等のマネジメントー大学の規模に基づく比較・分析ー 三橋一郎/堀内孝/西村訓弘/吉岡基		2C10 服部　謙太朗 竹田・長谷川法律事務所 部分意匠の類否判断と破線部の参酌-知財高判平成28年1月27日（平成27年（ネ）10077号）を素材として-			2F10 尾崎　光三 日本弁理士会知財価値評価推進センター AHP（Analytic Hierarchy Process）を利用した特許発明の技術的優位性の評価に関する試み 田中正男/深澤潔/細田浩一			2I10 齋藤　歩記 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科 人工知能に係る発明の主体と特許法による保護に関する試論 平塚三好/小林和人/湯浅竜	
16:10	2A11 三橋　一郎 社会連携研究センター 大学における営業秘密等のマネジメントー共同研究等の実施件数・分野・企業規模に基づく比較・分析ー 狩野幹人/堀内孝/西村訓弘/吉岡基		2C11 山本　典弘 日本弁理士会・意匠委員会・第一部会 分割出願の要件緩和（7条適法出願）による意匠制度の活性化			2F11 エンゲル　アラン テイ・テイ・クロスローズ 審査経過拒絶の有無と権利維持期間に関するサバイバル分析			2I11 薦田　侑樹 東京理科大学大学院イノベーション研究科 IoT関連特許に見る日系企業のとるべき知財戦略に関する一考察 平塚三好/小林和人/阿部仁	

16:30